



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：348千円

## 2024年度大学・大学生・若者による浜松市の中山間地域再生の可能性を考える シンポジウム「2025まちむらリレーション市民交流会議」

### 目的・趣旨

本学学生（船戸ゼミや引佐耕作隊）や「山里いきいき応援隊」など浜松の中山間地域で活動している若者が会し、地域再生の方策を議論すると共に本学の地域貢献を発信する。

### 日時・場所

令和7年2月28日  
浜松市天竜壬生ホール

### 体制

（実施代表者）文化政策学部 文化政策学科 教授 船戸 修一

### 共催・後援等

（共催）浜松市

### 内容

第一部は「『地域サポート人材』が集落に交わり、起こった変化～岡山县美作市上山地区の事例から」というタイトルで図司直也氏（法政大学現代福祉学部 教授）、水柿大地氏（NPO法人英田上山棚田団 理事）に対談いただいた。第二部は「浜松市における『地域サポート人材』の活動とその影響」というタイトルで小林成彦氏（元 浜松山里いきいき応援隊）に講演いただいた。第三部は「『地域サポート人材』を受け入れる地域の姿勢」というタイトルで本学船戸ゼミの植田勝也氏、富田菜々美氏、森田瑞希氏による発表後、天竜区佐久間町下平自治会長の太石幸弘氏とクロストークを行い、地域づくりにおける地域サポート人材が果たす役割と可能性を議論した。



### 結果・成果

昨今、人口減少や高齢化に直面する中山間地域では、地域外から地域を支援するボランティアや「地域おこし協力隊」（以下、協力隊）など「地域サポート人材」（以下、サポート人材）が地域社会の担い手として期待されている。第一部では、岡山县美作市で協力隊として活動し、現在も現地NPOの理事を務めながら地域づくりに取り組む水柿大地氏から、自らの経験から、サポート人材が地域で果たす役割と可能性が示された。第二部では、浜松市の引佐町に協力隊として活動し、今も現地に住んでいる小林成彦氏から、浜松の中山間地域づくりにおいてサポート人材は有効であることが示された。第三部では、天竜区佐久間町下平集落の住民調査に取り組んだ船戸ゼミによる発表を踏まえ、「他出子（集落から転出した子ども）」や支援活動をする「大学生」が地域づくりに果たす効果を示すとともに、現地の自治会長である太石幸弘氏から、その効果について語られた。終了後、動画配信も行った。このようにサポート人材による中山間地域づくりについて市民が一緒になって考える場を提供することは本学の地域貢献活動でもある。引き続き「まちむらリレーション市民交流会議」が果たす役割は大きい。

